



令和3年度

# 神谷だより

< 2月号 >

令和4年1月31日  
北区立神谷小学校  
校長 星野 典子

教育目標：すこやか・まなび・おもいやり

## ゴミ拾いは運拾い

副校長 岡庭 智慧

新型コロナウイルス感染拡大による影響で、本校でも陽性者が増え始めておりますが、学校では引き続き手洗いやアルコール消毒等の感染予防に努めながら、教育活動を進めて参ります。

さて、少し前のこととなりますが、昨年末の12月に実施した5年生「社会科見学」での出来事を紹介します。ホームページ等にも掲載しております通り、5年生は社会科見学で「藍染め体験」を行いました。子供たちがそれぞれハンカチを輪ゴムで縛り、それを藍の染料に入れて染めるのですが、ハンカチを縛り終えて染め場へ移動する際、担任の先生が子供たちに「床に落ちているゴミを拾いましょう。」と声をかけました。作業台の下を見てみるといくつも輪ゴムが落ちていました。その際にこのような会話がありました。

子供「先生、僕たちが落としたもの以外も拾いますか。」

先生「次に使う人のために、来たときよりもきれいにして帰ることが大切です。」

子供たちは納得した様子で、再度ゴミを拾い始めました。

これまで、7月と10月の学校だよりで本校の生活指導重点についてお伝えしてきましたが、今回の紹介した出来事は「あとしまつ」に関するものです。

使った物を元に戻し、身の回りを整理整頓する「あとかたづけ」も「あとしまつ」の一つですが、本校で子供たちに指導している「あとしまつ」は、さらに心を込めて行なう所作です。例えば、次に使う人への思いやりを込める、使った物や道具に「ありがとう」という感謝の心をもつ、自分の気持ちを整理するつもりで取り組むなどです。このように心を込めて、日常の「あとしまつ」を心がけていくと、学校での生活がお互いに気持ちよく、晴れやかに感じられるはずです。

最後に昨年、メジャーリーグのアリーグでMVPを受賞した、エンゼルスの大谷翔平選手にまつわるお話を一つ紹介します。

大谷選手は試合前、ブルペンからベンチへ戻る途中、外野の芝生付近に落ちていたゴミを拾い、尻のポケットにしまった。花巻東高校時代、佐々木洋監督から学んだことの 하나가、このゴミ拾いの大切さだった。

「ゴミは人が落とした運。ゴミを拾うことで運を拾うんだ。そして自分自身にツキを呼ぶ。そういう発想をしなさい。」

大谷選手はメジャーリーガーになった今も、この教えを守り続けている。

「あとしまつ」に関連する一つの話として、私はとても素敵なことだなと思いました。子供たちが、ゴミが落ちていたらすすんで拾える大人になれるよう、引き続き教育活動に取り組んで参ります。

【お知らせ】10月から病休となっていた川口泉主任教諭に替わり、1月24日から清水香保里教諭が算数少人数指導を担当いたします。よろしくお願いいたします。

3つの **あ**  
あいさつ・あつまり・**あとしまつ**

# 席書会

新年を迎え、新しい気持ちで臨む校内席書会を、1月11日(火)から14日(金)に行いました。

1・2年生は教室で硬筆、3年生以上は、体育館で毛筆の作品を書き上げました。

席書会では、真剣な表情でお手本をじっくり見て、一画一画を丁寧に書く児童の姿があり、緊張している様子が伝わってきました。書き上げた作品は書き初め展として、1月19日(水)から2月4日(金)まで各クラスの廊下に展示してあります。お時間は16:00から16:45です。まだご覧になっていない方は是非ご観覧ください。

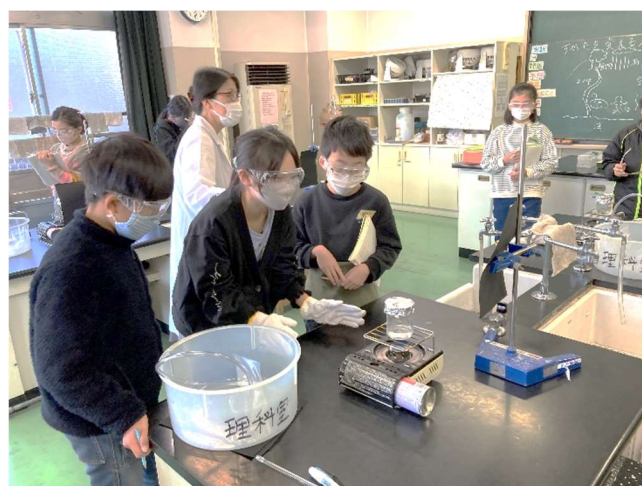
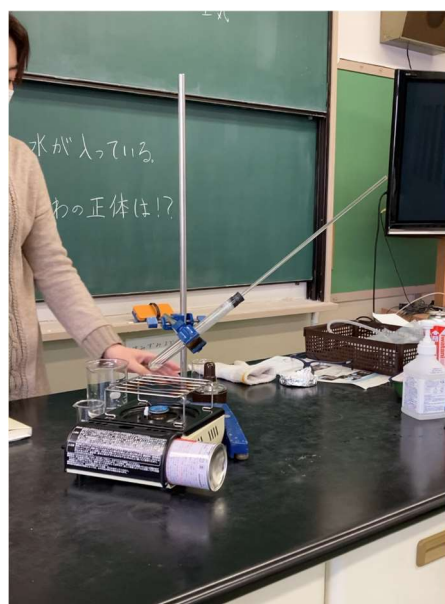
校内での金賞の作品は、書き初め展終了後2月7日(月)から2月26日(土)まで職員室前の廊下に展示します。



[ 書写担当 石井百合子 ]



# 4年 理科の学習



1月25日（火）に「北区の理科実験支援事業」の一つとして、お茶の水女子大学の堀田先生を講師にお迎えして、「すがたを変える水」の授業を行いました。

授業では、雨、雪、川、池、海、氷山、地中、空中、水源林や体の中など、いろいろなところに、様々な形で存在する「水」について考えました。

今回の実験では、水を沸騰させたときの、ポコポコと暴れる泡の正体はいったい何なのか？子供たちはそれぞれに予想をたてて、調べました。「なるほど～」と驚いた顔をする子供たちの表情が印象的でした。

授業の最後には、湯気をアルコールランプで温めて、水蒸気にする実験も見学しました。

デジタル機器を活用しながらも、経験や体験したことから思考を深めることができるような学習を大切にしていきます。

[ 4年担任 竹井聡美 ]